

授業に関するアンケート（2018 年度春学期・学部） 実施結果に対する授業評価報告

- ・授業アンケート結果の数値や「教員コメント」に基づいて、学科等の総括を概ね 4 ページ以内でご記入ください。
- ・原則として、すべての項目にご記入ください。
- ・可能な限り、箇条書きでご記入ください。

学科等
英語英文学科

（1）授業実施に関する質問結果について

1. 授業内容はシラバスに合っていましたか。
総じて、どの科目も評点が高かった。シラバス重視の在り方が教員に浸透しているようだ。
2. 受講生の理解度を確かめながら授業が進められていましたか。
おおむね実現されていた。
3. 授業レベルは自分に合っていましたか。
おおむね良好であった。この質問「レベルが合っているかどうかの基準」は、習熟度別クラスのような場合は別にして、学生の受けとめ方が異なるので、評価の判定は難しいという意見が多かった。
4. 教員からの一方向的な授業ではなく、教員と受講生又は受講生同士の双方向性に工夫がされていましたか。
おおむね良好ではあったが、講義と演習授業では、授業方法が異なるので、学生の評価が異なるのは当然と思われる。
5. 提出物に対するフィードバック（採点、添削、マナビーでのコメント、チェック後の返却など）は効果的に行われていましたか。
講義科目と演習科目では相違が生じるが、担当教員は今後も工夫をしていきたいと報告している。
6. 言葉による説明だけでなく、受講生の理解を促進する工夫がなされていましたか。
講義授業ではやや難しいようだったが、全学評価平均（3.38）よりも、学科平均（3.41）はやや高かった。
7. 自主学習を促す工夫がなされていましたか。
おおむね良好であった。
8. 工夫してほしいと思ったことを選んでください（複数選択可、なしも可）。
教員のコメントを見ると、「公平性」「話し方」「パワーポイントの工夫」を取り上げていた。

（2）この授業の学修行動に関する質問結果について

9. この授業の予習、復習、自主学習に 1 週当たり平均どれくらいの時間をかけましたか。 ※学内外を問わず授業に間接的に関係のある学習を含む。ただし、授業時間は除く。
この項目は、多くの教員が、学生の学習時間を見て、少ないと感じているようだ。この数値は、科目内容や教員の要求度によっても異なる。しかしながら、この項目は、教員にとっては、学生の授業評価結果を俯瞰するための重要な資料になる。
10. あなたはこの授業に関して積極的に意見を述べたり質問をしたりしましたか。
この設問項目は、全学平均（2.51）と学科平均（2.55）を見ると、14 問の設問の中で最も評価平均値が低い。授業形態、授業内容、受講人数によって、差異が生じて当然なので、設問自体に疑問を感じている教員が多い。
11. あなたはこの授業の分野又は関連分野の学習を更に深めたいですか。
おおむね平均という結果であった。この設問は評価点の高低だけで良し悪しが判断できない。評価平均点が低い項目の一つであるが、全学平均（3.14）よりも学科平均（3.17）はほんの少しだけ高かった。
12. あなたがこの授業を履修した理由は何ですか（複数選択可）。
選択科目について、「授業内容」「授業方法」「英語で授業」の回答が多かったが、妥当であろう。

(3) この授業の到達目標に関する質問結果について

13. 到達目標を達成しやすいように指導がなされていましたか。
おおむね良好であった。
14. あなたは到達目標を達成できたと思いますか。
平均的な評価点であった。この項目は学生の自主的な学習時間の長さに比例しているようだ。全学平均（3.15）よりも学科平均（3.12）はやや低かった。
15. DWCLA10 の内、この授業の履修を通してその獲得や向上に役立ったと感じられるものをすべて選んでください (複数選択可、なしも可)。
どの科目も、科目内容の趣旨に応じて、妥当な評価を得られている。

(4) その他

・例年のことだが、習熟度別クラスでは、全体的に評価平均値が高い傾向にある。 ・ゼミ等の選択科目においては、選択したという「意志」に関係しているせいか、評価点はどの教員の場合も高かったようだ。 ・演習、講義、必修科目、選択必修科目、選択科目の違いによって、学生の評価が明らかに反映されているが、これは当然の結果であるし、同じアンケートの設問を、すべての科目に対して立てることに、問題を抱えている教員が多いようだ。

教育開発支援センター